

方言で知る 奄美の観光スポット

奄美大島 世界遺産センター

奄美大島ぬ世界自然遺産ちいなりよたん森なんすうどうんクロウサギんきやば剥製し、ジオラマ映像なん写し山がりい行きやんてい見りゆんくとうのでけえりゆんセンターだりよつとー。

迫力満点のジオラマ映像やクロウサギの剥製など、奄美の森に住む生命の賑わいを体験することができます。奄美大島の魅力を身体全体で感じられる施設です。

奄美市

国直ウミガメ公園

くんによりぬ 浜ぶちぬ「ウミガメ公園」だりよつか。宮古崎トンネルぬほがさりよてい、行き方がどやさなたんあんぶえし、休みの日んきや、まんでの観光客とう家族し ふう賑わいだりよつとう。うっから、青さん天とう 白さん砂浜なん、落ていきゆんティダや、あげきよらさぬ おしりよらんどう。

国直海浜に隣接する「ウミガメ公園」です。宮古崎トンネル開通で交通が便利になり、休日には多くの観光客や家族連れで賑わっています。また、青い空に白い砂浜、そして夕陽のロケーションは絶景そのものです。

大和村

ぶらじるばし 伯国橋

湯湾なんていはじめていでいくたん鉄筋ぬ橋。戦争しうきょうさった橋ば、ブラジルかっち移住しやんシマンちゆんきやぬあいぎやて一な寄付金し、また橋ばけ一ゆんくとうがでいくようた。街歩きぬルートちなてい活躍しうつとう。

湯湾集落で初の鉄筋コンクリート製の橋。空襲で破壊された橋を、ブラジル在住の集落出身者から贈られた寄付金により再建しました。街歩きのルートとしても活躍しています！

宇検村

加計呂麻島展示・体験交流館

シバヤちばデゴぬ並木んきやぬ見物しゆんむんがまんていありよすか、拠点がねんたんから整備しやおろたん。

加計呂麻島は重要無形民俗文化財の「諸鈍シバヤ」やデゴ並木等の観光資源を有している。観光拠点に位置付け平成27年度より竣工。

瀬戸内町

龍の目

円ぬ集落にあん「かがんばなトンネル」や 春分ぬ日とう秋分ぬ日ぬ、もううしろな一りいかけ、トンネルちい夕日ぬ、うんまほつきゆんだっかや、龍ぬ顔一ちい 目ぬほつきゆんにしいにや一りいんくうとら春とう秋ぬシマぬ、むずしゃ眺がむ場所なとらよつと。

円集落にある「かがんばなトンネル」に、春分の日と秋分の日前後数日間だけ、夕日がすっぽりと入る姿が龍の顔に目が入るように見えることから「春と秋の風物詩」になっています。

龍郷町

さとうきびの一本道

うにばて一ぬ中を、真っ直ぐに、はしとらん、むるながさん、一本道どー。長さは3kmじ、写真とりゆんむにえ、ゆかばすどー。「さた一みち」ちむいちゆれんどー。

さとうきび畑の中を、真っ直ぐに走っていると長い一本道。全長は約3kmで、写真を撮るには良い場所となっています。別名「シュガーロード」とも呼ばれています。

喜界町

朝潮太郎記念像

徳之島一番ぬ井之川岳バックな、第46代横綱朝潮太郎ぬ銅像ぬ立つちゆい。くまや、井之川ぬ人きやぬ聖地なてい、敬てい気持ちぬ休まるん、大事にしゆん場所。敷地内なや、公民館とら、昨年出来たん朝潮太郎記念館ま あーい。

徳之島の主峰井之川岳を背に、勇壮と立つ第46代横綱朝潮太郎の銅像。ここは、井之川の人たちの崇拝する聖地で心のより所。敷地内に公民館があり、昨年開館した朝潮記念館もある。

徳之島町

犬の門蓋

たーちのふてかーむういが、むいがねにしにや一ゆむなてい「ネガネ岩」ちゆばとうい。

2つの大きな洞門が並ぶ様子が、まるで眼鏡をくり抜いたように見えることから「めがね岩」と呼ばれている。

天城町

犬田布岬

あうかあうんとら、砕けたん波しぶきがきゆらあり。夕日まきゆらあり。運ぬゆたあていかカメラまにやありゆり。ゆうくわあしま、しらとらり。

紺碧の海と、砕ける波しぶきが美しい。夕日も絶景。運が良ければウミガメも見ることができます。大物釣りのポイントとしても有名です。

伊仙町

ワンジョビーチ

ちゆらさぬ しにやはまから とら一さぬとくるんたべ あささんとら、やした一ま ういがゆぬ 海水浴場でいろ。はみむ うんどー！

きれいな砂浜から遠いところまで浅いので簡単に泳げる海水浴場です。亀もいるよ！

和泊町

すみよしくらごう 住吉倉川

昔、生活用水は 暗川から くだいうたん。地下30mから、みじはみ ちぶるに はみていや一たねひやーしゆしは ていんげ しょぬぎたぬはじ。みじくみぬしぐとら うなぐぬしぐとら ていあたん。

かつて、生活用水は、暗川から汲んでいました。地下30mから水瓶を頭上に載せて、家まで運ぶのはかなりの重労働でした。水汲みの仕事は、女性の仕事でした。

知名町

ハジピキパンタ (梶引パンタ)

ハジピキパンタや、島ぬまん一なんあゆるばんたえーびゆん。島ぬ ばじまいぬばなしない、いじていきゆる で一じな ばんたえーびゆん。ばんたぬ ういかるー、島む一るみやーりゆるとくるえーびゆん。

ハジピキパンタ(梶引パンタ)は、与論島の中央にある丘で、島の創生神話に登場する重要な丘です。丘からは360度のパノラマ展望を得ることができます。

与論町

方言は集落により異なります。掲載している方言は、大島地区の市町村教育委員会からの回答を基に作成しました。

大島地区文化協会連絡協議会～2月18日は大島地区の「方言の日」です～

(事務局：鹿児島県大島支庁総務企画課 〒894-8501奄美市名瀬永田町17番3号 TEL 0997-57-7218)

